



別の顔

放課後は



after

など、同じ武道でも大きな違いを感じます。また、空手は中学生までは架空の相手をする型が中心であるのに対し、剣道は常に相手と戦い競い合います。その違いに2つの武道を習う面白さがありますし、剣道をすることで闘争心や競

高隈中学校
かねだ はやと
金田 隼人 さん(2年生)



保健体育部副部長を務め、部長と校内の体育部門をまとめる。体育祭での応援団員や駅伝メンバーにも選ばれるなど、一生懸命な姿に周りの人から頼られている。

い合う気持ちが以前より高まってきました。
今の目標は、大会で優勝することです。これまで入賞の経験はありますが、優勝したことはないの
で、一番を目指して努力したいです。また、今後も2つの武道を続け、高校生から始まる空手の相手にも闘争心を持って取り組めるよう頑張りたいです。



小 空手と、中学生から続けているから始めた剣道。2つの武道を両立することは難しいと聞いていました。大会日程の調整だけでなく、身体の動かし方や足の運び方



school

昔、度尾で起きた出来事にクローズアップ!



タイム トラベル ~温故写新~

5話

中世の所領争い



NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」もいよいよ佳境。当時の政権争いが大隅半島に及ぼした影響について紹介します。平安末期から鎌倉時代へと政権が移り変わるときに、痛手を受けたのが大隅・薩摩・日向の三州に大勢力を築いていた肝付氏一族です。肝付氏は、その祖となる兼俊の父兼貞が、都城を中心とする広大な原野を開墾し荘園主となった平季基の娘と結婚し、後にその所領「島津荘」を譲り受けます。三州の荘園主となった肝付氏は藤原摂関家や平氏を後盾に、一門で領地を固め繁栄を極めていました。しかし、



▲名越氏との争いで殺害された六代当主の兼藤。この納骨宝塔が鎌倉後期のものであること等から兼藤のものと考えられている。

その後平家を滅ぼした源頼朝により、所領である島津荘は没収され、かろうじて一部の所領だけが保障されます。また、頼朝は守護・地頭として全国に御家人を配置。島津荘は鎌倉幕府の有力御家人であった惟宗忠久が守護として治めることになりました。忠久は、のちに島津氏を名乗り島津氏の祖となりますが、その後將軍源頼家の外戚として権勢を握った比企能員と北条時政が争った「比企能員の乱」により失脚し、忠久は大隅の地での全ての職を失うこととなります。これにより大隅国の守護は、北条氏、名越氏へと切り替わりました。一方、肝付氏は、五代兼石、六代兼藤の頃から名越流北条氏との土地支配をめぐる争いが激化し、受難の時代が続きます。